## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成29年1月31日

協議会名:三好市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況		④事業実施の適切性		⑤目標·効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
四国交通(株)	プロハスグ ミアル 名成口	通学の利用・維持を図るため関係機関(教育委員会等)と連絡・調整を実施した。	Α	計画通り事業は適切に実施された。	Α	日標利用者数(H27.10~	ダイヤの見直し、経費削減や 便性の向上について、今後も 引き続き利用実態を注視し、網 続していく。

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成29年1月31日

協議会名:	三好市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名: ———	地域内フィーダー系統確保維費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	三好市は平成18年に三野町、池田町、山城町、井川町、西祖谷山村、東祖谷山村との合併により広域な市となり、病院、商店街、市役所、学校などが集積している池田バスターミナルを中心に路線バス網が広がっている。当地域は、住民の日常生活に必要不可欠な地域であり、移動手段を持たない高齢者、学生等には、路線バスが重要な役割を担っている。 当ターミナルへ接続する乗合バス路線は、補助対象地域間幹線3路線、廃止代替路線3路線及び事業者単独運行の箸蔵地区を結ぶ猪ノ鼻線があるが、人口減少と自家用車の普及により利用者は年々減少を続けている。特に、猪ノ鼻線は、運賃収入の減少により地域の支援なしに確保維持することが困難な状況となってきている。このため、平成23年10月1日から新たに地域の支援を受け、地域公共交通確保維持事業により路線の運行を確保・維持することで、住民の生活交通手段を存続させていくことを目指す。